

北海道マラソン2024 ボランティアは4月から募集開始

▶ 2km地点に給水所を増設

北海道マラソン2024は8月25日(日)に開催されます。ランナーのエントリーは3月31日からスタート。定員20,000人、制限時間6時間、日本で唯一の夏のフルマラソンが今年も動き出します。ボランティアの募集もエントリーに合わせて近く始まります。

大通西4丁目を午前8時30分にスタートし中島公園、平岸通、創成トンネル、宮の森・北24条通を通り、新川通に出て折り返して北大、北海道庁赤れんが庁舎前を抜け駅前通・大通西4丁目でゴールする42.195kmの日本陸連公認コース。

暑さ対策の強化で、新たにスタートから2km地点の中島公園東通に給水所が増設される予定です。スタートとフィニッシュ地点を含め給水所は19カ所になります。スポンジと給食は4カ所。トイレは22カ所に用意されます。またコースの各所で水かぶり(シャワー)ステーションも新設されます。

また順位やタイムを求めず、男女の性別も問われない「オープン」の部が誕生。マラソンの多様な楽しみ方を選べる新しい試みとなります。

ランナーのエントリー料は1万6千500円。そのうち200円を充てるチャリティーの寄付金配分先に、従来からの北海道交通遺児の会などに加え、能登半島地震の復興義援金も対象とします。またランナーが出走料に加え5万円以上の寄付をして出

走権を獲得、その寄付金を道内の様々な分野で活躍するNPO法人への活動支援や、北海道マラソンクリーン宣言の原資に充てるチャリティーエントリーランナーの募集も3月31日から始まります。

大会の受付は8月23日午後1時から午後8時、24日の午前10時から午後8時まで。参加賞のTシャツ配布も同じ会場で行います。

受付、給水、コース整理などボランティアの募集は4月から始まる予定です。ボランティアに関する問い合わせは☎011-833-6672 北海道マラソンボランティアデスクへお願いします。



駅前通りをフィニッシュに向かうランナー (2023年)

「オールド・パー」

健康の雑学

イングランドのウェールズに近いシュルーズベリーの近郊で1483年に生まれた農夫のトーマス・パーさんは、80歳で初めての結婚をし、105歳では別の女性と不義の子をもうけ、最初の妻と死別後に122歳で二度目の結婚をしました。

今目的には品行方正とはいえない生き方も当時は賞賛の対象だったようで、その長命と壮健ぶりが評判になり、1635年に国王チャールズ1世への拝謁のためロンドンに連れていかれました。しかし環境や食事の変化があだとなり、その年に152歳で世を去りました。

お墓がウエストミンスター寺院に実在します。スコッチウイスキーのオールド・パーは19世紀の発売以来、飲めば長寿になると効能を謳うためその名前を冠し、いまもラベルにはルーベンスが描いた彼の肖像がデザインされています。

とはいえ、現在パーさんが150歳を超えて長生きをしたとは一部の信奉者を除いて誰も考えていません。生前の彼と言葉を交わした人は、彼が人生前半の記憶をほとんど語るができなかったと証言し、死後の解剖ではその臓器は言われる年齢よりはるかに若く見えたといわれています。結局、152歳という根拠は本人の言葉と老いて見えた容貌だけでした。

南フランスのアルルで1875年に誕生したジャンヌ・カルマンさんは1997年に122歳と164日でこの世を去りました。裕福な一族に生まれ、使用人と趣味に囲まれて一生を送った彼女は、13歳のとき、アルルに居住していたゴッホが、彼女の親族の営む画材店を訪れて会

ったことがあり、その印象はとても悪かったと語っています。

カルマンさんについては、ロシアの研究者が「本当は58歳で死んだが、娘が相続税を逃れるために名前をかたって暮らし99歳で死んだ」と122歳虚偽説を発表したりしましたが、すぐに否定されました。いまも122歳説への異論は残っているようですが、世界の歴史上で一番長生きした確証がある人間とされています。

世界でカルマンさんに次ぐ長寿者は日本の田中カ子さん。福岡県出身で1903年(明治36年)から2022年(令和4年)まで119年と107日を生きました。田中さんについては年齢についての疑義はありません。

男性では鹿児島県徳之島の泉重千代さんが1865年(慶応元年)に生まれ1986年(昭和61年)まで120年生きたとしてギネスブックにも登録されましたが、その後、出生時の戸籍記録に疑義があるとして、いまは登録を取り消されています。実際は105歳だったという見解が有力です。

現在、男性で世界一の長寿記録を持つのは京都の木村次郎右衛門さんです。1897年(明治30年)生まれで2013年(平成25年)没。116年と54日を生きました。世界2位と男性1位が日本人というのは、喜ぶべきことでしょう。

100歳を超える人をセンテナリアンといいます。さらにセンテナリアンの1000人に一人とされる110歳を超えるスーパーセンテナリアンは、2010年の調査では世界で2500人以上。世界の国々で110年以上の戸籍制度を持つ国が多くなれば、その数はもっと増加するとの予想があります。カルマンさんの122歳を超える人類史上最高齢者の出現が待ち望まれます。

<未知>

北のスポボラを支援していただいている団体・企業

一般財団法人 札幌市スポーツ協会 さっぽろグローバルスポーツコミッション
NPO法人 日本市民スポーツ海外交流協会 北海道マラソン組織委員会 北海道ロードレース事務局
創文企画「ランニングの世界」 西宮の沢バッティングパーク ピッチャーガエシ